

平成23年 1 月20日

## 学校段階間の連携・接続等に関する作業部会(第3回)説明資料

新潟県立柏崎翔洋中等教育学校長  
志田重道

## 1 本校における学習意欲の向上の取組等について

## (1) 本校独自の取組について

## ・新入生オリエンテーション合宿

入学当初、妙高青少年自然の家に1泊2日で行う合宿。集団生活やグループ活動を通じて、仲間づくりをすすめる。

## ・SAC (Shoyo Academic Champ)

夏期休業中に志賀高原で行う学習合宿、3年生は3泊4日、6年生は4泊5日で集中して学習に取り組む。じっくりと学習したり、一緒に生活したりすることで目標を達成する意識を高める。

## ・SAT (翔洋アチーブメントテスト)

前期課程の学力診断を3年生8月末に実施。

## ・LFプロジェクト (リーダーシップとフォロアーシップを育むプロジェクト)

異年齢班(1から6年生まで各学年3人ずつ18名を1グループ)の活動。挨拶運動、将来の夢発表会、地域清掃、学校座談会等を実施。学校生活座談会では、下級生が質問し、上級生が答えることにより、下級生は学習方法や生活の在り方を学び、上級生は自分の生活を振り返る機会とする。

## ・海外研修旅行

4年生が、カナダで、9泊10日で行う。外国での実生活や現地での交流を通して、これまでの学習で培った英語を生かしたコミュニケーションを実践する。また、ホームステイや現地校との交流を通して、異文化理解を深め、自分と自分の国を見つめ直す。

## ・チャレンジウォーク

1・2年生は約18km、3・4年生は約25km、5・6年生は約30kmを歩く。この体験を通して、忍耐力を育て、達成感を味わう。また、仲間と助け合い、協力する気持ちを養う。

## ・その他の取組

大学訪問、進路講演会、職業講話、職場見学・体験、

国内研修旅行 (2年生、沖縄3泊4日)

社会研修旅行 (5年生、東京2泊3日、大学や企業等探訪、卒業生との座談会)

## (2) 県の事業への参加について

## ・チャレンジセミナー

高校2年生及び中等5年生を対象とし、春と夏に実施。全県から200名程度が参加。国語、数学、英語の3教科の講義、意識啓発講演会、OBによる体験談等を実施。

## ・数学トップセミナー（サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト事業）

新潟大学と連携して、高校1・2年生を対象とし、10月と12月に計3日間実施。全県から120名程度が参加。大学の教授が作成した数学の課題を、教授や院生等から指導を受けながらグループで研究し、その成果について発表し、意見交換する。

## 2 本校において行っている入学者選抜について

県教育委員会が示した実施要項に基づいて、一人一人のすぐれた点を積極的に評価し、個性や能力・適性等を多面的にとらえるよう配意し、入学者選抜を実施している。

## (1) 選考検査の内容と時間について

作文（45分）、グループ活動（80分）、面接（複数又は個人）

面接は、本校では、個人面接で、10分以内で行っている。

## (2) 評価方法について

評価の観点を決めて、観点ごとに基準を設けて評価する。

作文…5つの観点について、基準を設けて評価

グループ活動…6つの観点について、基準を設けて評価

面接…4つの観点について、基準を設けて評価

## (3) 選抜方法について

「調査書」、作文、グループ活動及び面接の結果に基づいて、特長のある者や評価の高い者の中から、本校の特色に照らし、総合的に判断して、決定する。

あなたのクラスで「水の資源しげんの問題」について、調べ学習をしてまとめることになりました。

いろいろな調べていたら、「作文用紙一」の「調べてわかったこと」にあるア、エのことがわかりました。さらに調べていくと、資料①、③が見つかりました。

一 【作文用紙一】の資料①、③をみて、それぞれ気がついたことを【作文用紙一】の右側の  の中に書いてください。

二 あなたは、「水不足を解かい消しょうするには、今後どうすべきか」というテーマで、自分の考えを作文にまとめることにしました。

【作文用紙一】に書いたことと、小学校で学んだことなどをもとにして、自分の考えを【作文用紙二】に書いてください。

調べてわかったこと

ア 多くの国では、人口の急増や社会の変化などに伴い、水不足が発生し、世界の5人に1人（約12億人）は、安全な水を得ることができない状態にある。

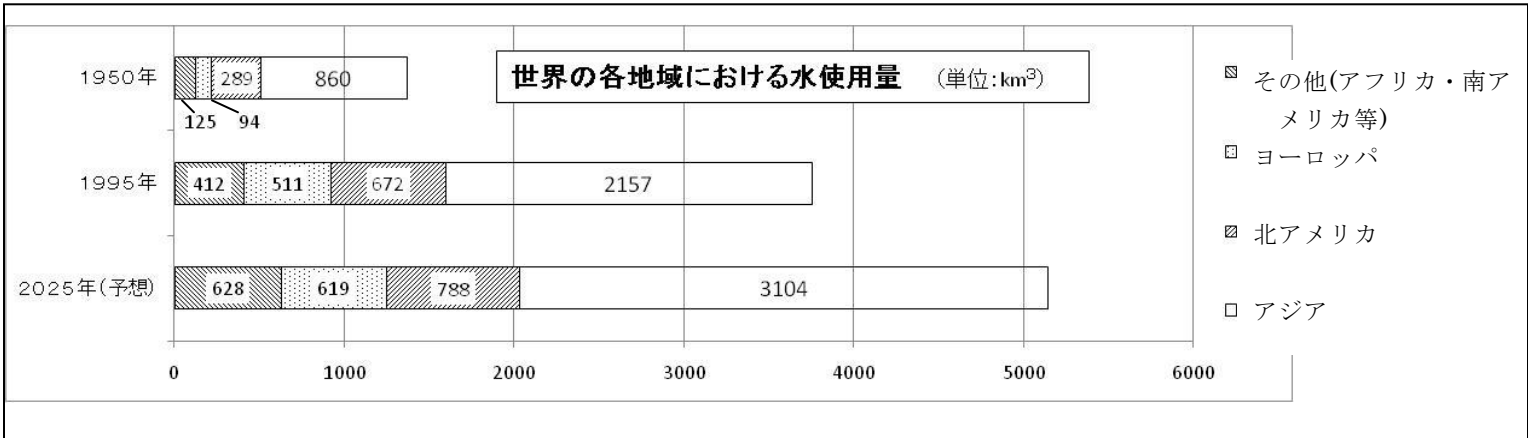
イ 生活排水や工業廃水などにより、水の汚染が起きている。

ウ 地球全体の水のほとんどは海水であり、河川・湖・沼などの比較的使いやすい淡水は、わずか0.01%である。

エ 2025年には、48ヶ国で水が不足する見込みである。

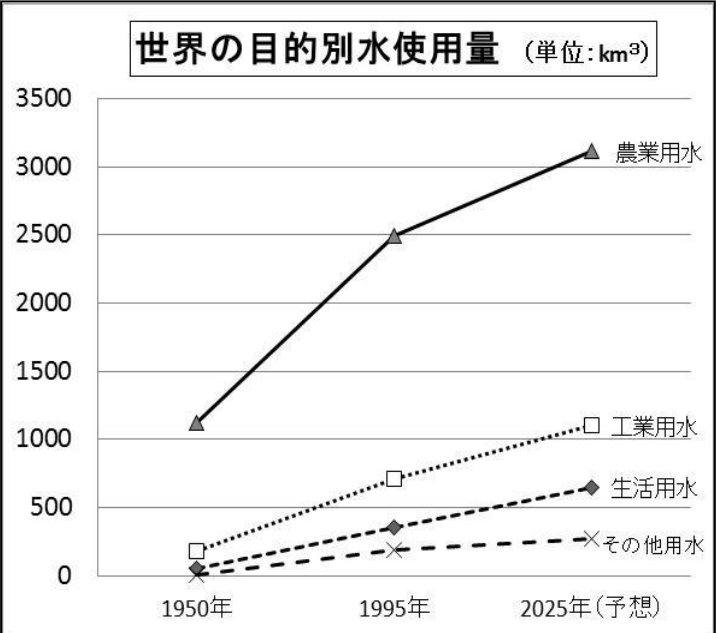
(国土交通省のHP等より作成)

資料①

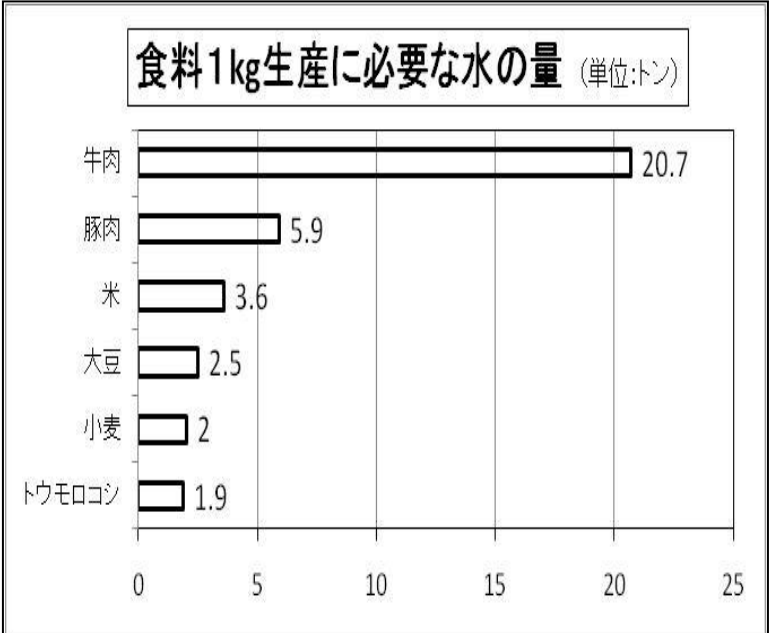


(国土交通省土地・水資源局水資源部「平成22年版水の資源について」より作成)

資料②



資料③



(資料①と同様に「平成22年版水の資源について」より作成) (東京大学生産技術研究所 2003年「世界の水危機、日本の水問題」より作成)

資料①を見て、気がついたことを書いてください。

---



---



---



---

資料②を見て、気がついたことを書いてください。

---



---



---



---

資料③を見て、気がついたことを書いてください。

---



---



---



---

受検番号

---

名前

## 平成23年度選考検査（グループ活動）課題用紙

あなたの学級で、グループごとに、夏休み中に1泊2日の「無人島でのキャンプ」をすることになりました。この無人島には、食料も飲料水いんりょうすいもありません。1日目は、午後2時に無人島とうちゃくに到着し、2日目は、昼食後、後かたづけをして午後3時に無人島を出発します。

無人島で何をするかを考え、1泊2日の「無人島でのキャンプ」の計画を作成してください。その計画の中には、スケジュールと持ち物、役割分担ふくを含めてください。

- 1 はじめに、あなたが考えた「無人島でのキャンプ」の計画を、用紙1（小さい紙）に絵や言葉で表してください。
- 2 次に、グループの中で、一人一人が考えた、「無人島でのキャンプ」の計画を発表し合い、それぞれのよいところを生かして、「無人島でのキャンプ」の計画をグループで考えてください。
- 3 最後に、グループで話し合った「無人島でのキャンプ」の計画を、用紙2（大きな紙）に絵や言葉で表してください。